

01 とちぎニュービジネス協議会 9 月例会レポート

◆2021 年 9 月 29 日 (水) ◆Zoom 開催◆

「ベンチャーキャピタル (VC) の視点から学ぶ!!」



2022 年 JNB 新事業創出全国フォーラム in とちぎ (JNB 全国大会) に向け、「ニッポン新事業創出大賞」について学ぶ会として Zoom 開催 (48 名参加) いたしました。

第 1 部は、当委員会の 7c firm 高橋邑伍氏より「ニッポン新事業創出大賞」の概要プレゼンをしていただき、申請時期や申請方法等について学びました。一例としての過去の大賞受賞者である「ビズリーチ」の受賞後の売上増大幅に、一同驚きました。やはり、受賞のメリットを大きく感じられました。

第 2 部として、2022 年 JNB とちぎ全国大会「ニッポン新事業創出大賞」エントリーに向けて、とちぎを代表する新事業創出企業に 10 分ピッチ (Zoom 開催 44 名参加) を行っていただきました。

ピッチ後に VC と各金融機関の担当者から質問アドバイス等をしていただき、ピッチ参加企業は今後の事業発展に活用できるヒントになったと思います。参加の会員企業のみならず、新事業のピッチ内容やアドバイス等を参考に、自社での新事業開発のヒントに役立ててくれるはずです。また、「エクイティ・ファイナンス視点」の VC と「デット・ファイナンス視点」の銀行との、見ているポイントの違いからも多くを学びました。

記事募集

「新事業を開始した」「新たに営業所を出した」「新会社を設立した」「取引先を探しています」など、どのような記事でも結構です。事務局までお寄せください。

●ピッチ参加企業

- ①協栄精工株式会社 篠原淳さん
- ②株式会社 Cooking&Glow 金原恵美
- ③株式会社サイエンティフィックケアマネジメント
鈴木宏典さん
- ④株式会社アグクル 小泉泰英さん
- ⑤株式会社ジェネックス 松丸昂平さん



●参加アドバイザー

事業創造キャピタル株式会社 代表取締役 佐藤光歳様
新潟ベンチャーキャピタル株式会社 代表取締役社長 永瀬俊彦様
株式会社足利銀行・株式会社栃木銀行・鹿沼相互信用金庫・烏山信用金庫、各担当者

2022年のJNB新事業創出全国フォーラム in とちぎ (JNB 全国大会) での『ニッポン新事業創出大賞』授賞式に、とちぎ NBC 会員から登壇を目指しましょう！

会員のエントリー企業様には、当新事業サポート委員会メンバーが全力でサポートいたします。

新事業サポート委員会 委員長 村上勝彦

コラム

3Dプリンター



昨今の日本のものづくり現場では、市場の個々のニーズに合わせるため、多品種小ロットの高付加価値製品へのシフトがますます加速しています。

そのような中、ものづくりの各工程において、3Dプリンターが活躍する領域がますます広がってきていることから、製造業での3Dプリンターの活用が急速にすすみ、ものづくりを支える重要な役割を担っています。今、3Dプリンターは医学、部品、自動車、楽器、洋服や食べ物などさまざまな使われ方が可能となっています。製造業での3Dプリンター活用ノウハウの成熟化と、3Dプリンターメーカーの技術向上の取り組みにより、従来の「3Dプリンター＝試作」という認識は変わりつつあり、3Dプリンターを生産機として活用する場が増えてきています。

3Dプリンターは、その多様性からさまざまな業種や分野で取り入れられています。この技術がさらなる発展を見せた場合、コストのさらなる低下に繋がることで、爆発的な普及が進むことも考えられるでしょう。たとえば、とある樹脂製品を作る必要性が出た場合、金型を用いて作成するのなら1カ月以上かかってしまうものなのですが、3Dデータがありそこまで製造する数が無いものならば3Dのプリンターを使って製作したほうが現代でも安く済むようになっているので、多くの人々に受け入れられています。

しかし、超大量生産する必要がある時は金型を用いて樹脂成形の生産力には負けてしまっていて、製造業者には「便利ではあるものの、使えるのは限定的な用途」としか見られていない部分もあります。

ここで、商品を大量生産することで金型を用いた樹脂成型並みにコストも安くすることができる進化した3Dプリンターが登場した場合は、さまざまな樹脂製造業者に変革が起こります。この未来が現実のものとなった場合は、樹脂成形技術よりも未来型プリンターを使いこなす技術が求められるようになるので、技術職の人の方向転換も必要になるでしょうが、この未来予想を想像している国や人々が確実に増えています。

日本の技術力は世界に通用するものがありますが、取り残されている技術力も取り残されるようになってしまっているので、3Dプリンターを駆使できる技術者が求められる日に対応する力が必要になってくることでしょう。